



## 1 小中一貫教育を通して課題解決！

夏季休業中は小中合同研が主体となり、9年間プランに表された「小中重点課題」の解決に向けて熱心に協議していただきました。そして、各部会より、課題解決に向けた具体的方策が提案されました。以下にその主たる内容を示します。

### 学力向上部会Ⅰ

日々の授業の中で、活用力の育成を確かなものにするため、5つのポイントを意識した授業づくりに取り組めます。5つのポイントは「穂波東授業スタンダード（仮称）」とし、これを意識した授業づくりに学校全体で取り組めます。

### 生徒指導部会Ⅰ

不登校の未然防止・解消に向け、「穂波東校アクション3」を定め、全校で日常的に取り組めます。ステージ1は未然防止に向けた取組、ステージ2は早期発見・早期対応に向けた子どもの状況に応じた取組、ステージ3は組織的・継続的な取組が示されています。

### 学力向上部会Ⅱ

協調学習では、「エキスパート活動で、子どもが専門家になれるための手立ての工夫」「ジグソー活動で、子どもが思考を働かせることができるよう思考の発達段階を考慮した課題設定の工夫」の2点に重点をおいて取り組めます。

### 生徒指導部会Ⅱ

不登校の未然防止・解消に向け、不登校・不登校傾向の子どもたちの登校や学校生活の状況、家庭状況、関わり方や対応の仕方等の情報が、全体で共有できるように「穂波東校児童生徒カルテ（仮称）」を作り、それを電子データ化していきます。

各部会から提案された具体的方策をこの2学期から皆で取り組み、「活用力の向上」「不登校生の減少」を一步步、着実に進めていきましょう！

※ 各部会からは協議の議事録が提出されています。議事録には、より詳しい内容が具体的に書かれています。グループウェアの掲示板に掲載しますので、参考にされて下さい。

## 2 笛水小中学校の新たな取組

6月に本校に視察に来られた笛水小中学校が小中一貫教育の新たな取組をスタートされています。

別紙に添付しています「笛水★一貫教育応援通信」をご覧ください。通信のNo.1・2・4には「穂波東校視察のレポート」が詳しく書かれおり、本校の小中一貫教育の特徴や良さを改めて教えてくれます。また、No.5には本校の取組を取り入れた「笛水版・学びタイム」が紹介されており、視察後すぐに新たな取組を立ち上げる熱意と実行力には感服するとともに、刺激になります。

今回の視察のように、来年度の小中一貫教育全国サミットにおいても、本校の教育実践を発信し、他校の小中一貫教育の充実・発展に貢献するとともに、笛水小中学校のように、逆に新たな情報を頂き、そこから新たな学びと刺激を受けるような実りある交流ができればと願っています。